



# すきなく終盤一氣

## 503試合で打 指揮官も驚き



日本文理 立正大淞南 6回裏1死、高橋隼が右中間に二塁打を放つ=21日、甲子園

日本文理野球部の応援団若林尚希が中前打、歌の題名のような「若獅子」打線はどどまるところを知らない。3戦連続上初となる試合連続毎回安打に加え、先発選手全員がヒットを放ち11得点。「私自身がびっくりしている」と大井道夫監督も自軍の打棒に驚きを隠さなかった。

立正大淞南のエース崎田聖羅の高めに浮いてくる球に狙いを絞り、序盤から安打を量産。だが五回までに安打を放ちながら残り残り2得点と波に乗り切れなかつた。「嫌な予感がした」と指揮官。だが心配は杞憂(きゆう)に終わる。先1点を追う六回。先

1点を追う六回。先





